

みなさん、おはようございます。今日から新しい年度が始まります。

新しいクラス、新しい出会い。少し緊張しながらも、「今年はどんな一年になるのだろう」という期待もあるのではないのでしょうか。

私たちの生活は常に変化の中にあります。新しい環境、新しい人間関係、新しい学び。その変化に向き合うとき、不安や戸惑いを感じることもあると思います。

でも、そうした変化こそが、みなさんを大きく成長させてくれるチャンスです。

大切なのは、その変化を前向きにとらえ、自分なりの「希望」へとつなげていくことです。例えば、昨日より少し早起きできた、今まで話したことの無い友だちに声をかけることができた、苦手な分野の問題が少しだけ分かった。そんな一つひとつの小さな挑戦と変化の積み重ねが、自信となり、未来を切り拓く力となっていきます。

さて、今年度、本校では新たな学びの取り組みとして、これまで年4回実施していた定期試験に代わり、年2回の「総括テスト」を導入します。あわせて、授業の中では「単元テスト」を実施し、理解の定着をこまめに確認していきます。

この新しい取り組みは、単に点数で競うためのものではありません。

むしろ、「一夜漬け」や「その場しのぎ」の勉強から卒業し、日々の授業や課題を通して、自分の力を少しずつ積み重ねていく学び方を大切にするものです。

こうした学びの姿勢は、これからみなさんが進む社会で本当に求められる力、すなわち

- 自ら課題を見つけ、考え抜き、行動する主体性
- 仲間と協力して課題に取り組む協働性
- 失敗しても立ち上がり、再挑戦できるレジリエンス
- あきらめずに努力し続けるグリット

こうした「生きた力」につながっていきます。

社会では、答えの決まっていない問いに向き合い続ける場面がたくさんあります。

そのときに必要なのは、ただの知識ではなく、「学び続ける力」や「人と協力する力」「最後までやり抜く力」です。

総括テストや単元テストを、自分の理解度を確認するチャンスととらえ、「どう学ぶか」「どんなふう成長していくか」に目を向けてみてください。

点数や結果に一喜一憂するのではなく、自分なりの課題を見つけ、粘り強く挑戦していけば、その先には、きっと新しい「希望」が待っています。

創立 117 年を迎える聖霊学園の歴史に新たな 1 ページを加えるのは、みなさん一人ひとりの歩みです。

この一年、みなさんが、自分の可能性を信じ、仲間とともに学び合いながら、共に輝く光の子として、前へ進んでいくことを期待しています。

最後に、皆さんにご報告しておくことがあります。1月11日から80日間行ったクラウドファンディング止水板導入プロジェクトでは、245名の皆様から、416万7千円のご支援をいただくことができました。ご協力いただいた皆さんに心から感謝しましょう。

それでは、新しいスタートです。胸を張って、一步を踏み出しましょう！